

**製品名: ANAPC10 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81795**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	21.3kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ANAPC10
別名	DOC1; APC10
遺伝子 ID	10393.0
SwissProt ID	Q9UM13
免疫原	大腸菌で発現したヒト ANAPC10 (AA: 1-185) の精製された組み換え断片。

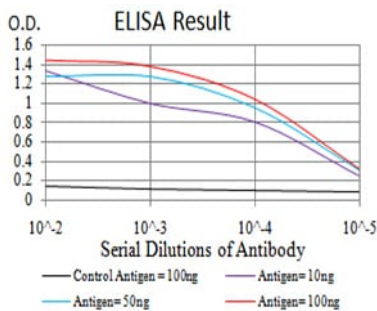
**背景**

ANAPC10 は、細胞周期の進行に不可欠なユビキチンタンパク質リガーゼである後期促進複合体 (APC) またはサイクロソームの中核サブユニットです。APC は、後期阻害因子であるセキュリン (PTTG1; MIM 604147) をユビキチン化することで姉妹染色分体の分離

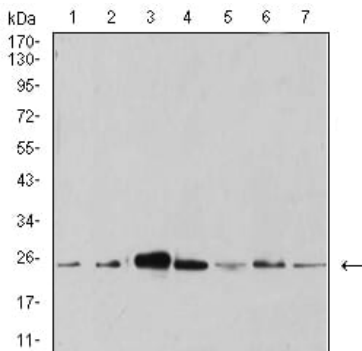
を開始し、サイクリン依存性キナーゼ 1 (CDK1; MIM 116940) の活性化サブユニットであるサイクリン B (CCNB1; MIM 123836) をユビキチン化することで有糸分裂からの離脱を誘導します (Wendt らによる要約, 2001 年 [PubMed 11524682]) 。

## 研究分野

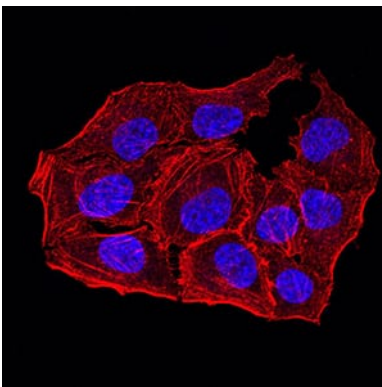
## 画像データ



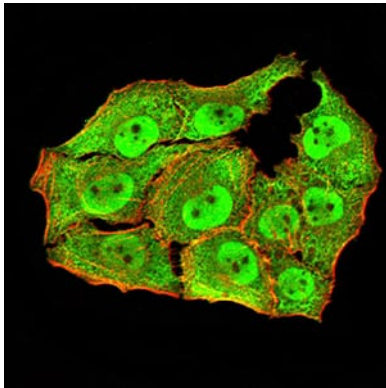
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



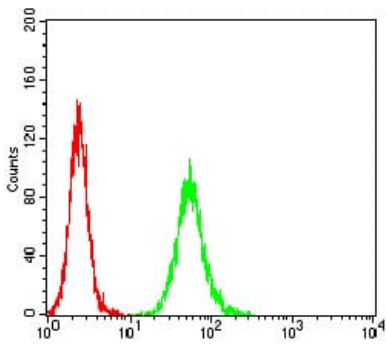
Hela (1)、MCF-7 (2)、SK-Br-3 (3)、A431 (4)、HEK293 (5)、A549 (6)、および SPC-A-1 (7) 細胞溶解物に対する ANAPC10 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



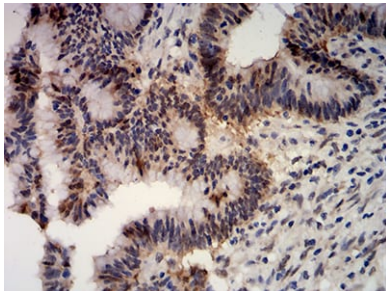
ANAPC10 マウス mAb を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



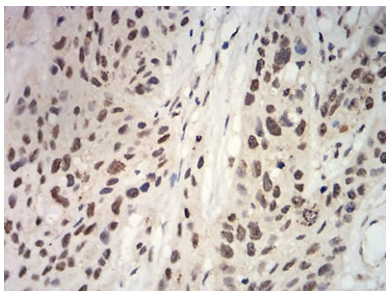
ANAPC10 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



ANAPC10 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による ANAPC10 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による ANAPC10 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。